

令和7年度に使用する教科書の採択について(報告)

広島大学附属福山高等学校

令和7年度に使用する教科書の採択結果とその理由について、ご報告いたします。

採択教科書		選定理由 (内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等)
教科名	現代の国語	現代を代表する最新の評論家の評論文を教材として多く載せており、最新の言説に多く触れることのできる授業が展開できる。また、評論文のテーマは偏りなく、幅広いものとなっており、人間、社会、自然の各領域について考えを広げることができる。さらに、評論文の読み解き方や書くことの実践教材が付されており、学習者の書く力や読む力を育成することができる。
発行者の略称	筑摩	
教科書名(シリーズ)	現代の国語	
教科名	言語文化	基本的な教材文を、各時代を代表する作品から選んで載せているので、高校古典の導入期にいる高校1年生に適切な教科書である。また、教材文の表記を工夫しており、読みやすいものとなっている。 また、アクティブラーニングの実践も教材として付しており、主体的な学習を深めるものになっている。
発行者の略称	筑摩	
教科書名(シリーズ)	言語文化	
教科名	論理国語	単元設定が明確で分かりやすく、また、複数の教材が組み合わせられており、学習者が複数の視点から人間、社会、自然の各領域について考えを深められるようになっている。教材については、近代以降の代表的な文章が掲載されているとともに、新進気鋭の作家の文章も掲載されておりバランスがよい。また、単元設定や教材選定が「現代の国語」を踏まえてなされており、高校1年次から系統立てて学習を組み立てることができる。
発行者の略称	筑摩	
教科書名(シリーズ)	論理国語	
教科名	文学国語	「論理国語」同様、単元設定が明確で分かりやすく、また、複数の教材が組み合わせられており、学習者が複数の視点から人間、社会、自然の各領域について考えを深められるようになっている。教材については、近代以降の代表的な文章が掲載されているとともに、新進気鋭の作家の文章も掲載されておりバランスがよい。また、「実践」編も興味深い学習が設定がされており、学習者の言語活動を充実させることができる。
発行者の略称	筑摩	
教科書名(シリーズ)	文学国語	
教科名	古典探究	代表的な古文作品が掲載されており、副教材も準備しやすい。古文に関する資料や図録も充実しており、レイアウトがよく、見やすく使いやすい。 教材を読み理解して終わりではなく、「ズームアップ」「解説」などで教材への理解が深められるようになっている。「探究の扉」では漢文の教材が載せられており、他ジャンルの文章を結びつけることで、学習者の視野が広がるとともに、学習が深められるようになっている。
発行者の略称	数研	
教科書名(シリーズ)	古典探究 古文編	
教科名	古典探究	代表的な漢文作品が掲載されており、副教材も準備しやすい。漢文に関する資料や図録も充実しており、レイアウトがよく、見やすく使いやすい。 教材を読み理解して終わりではなく、「ズームアップ」「解説」などで教材への理解を深められるようになっている。「探究の扉」では古文(日本文学)の教材が載せられており、他ジャンルの文章を結びつけることで学習者の視野が広がるとともに、学習が深められるようになっている。
発行者の略称	数研	
教科書名(シリーズ)	古典探究 漢文編	
教科名	世界史探究	教科書の章立てが、当校で実施する授業の流れに沿っている歴史的な因果関係を踏まえた説明をしている工夫が凝らされており、学習者にとっても理解が深まる記述であり、ヨコのつながりにも留意した構成になっている。各ページで世紀ごとの、主要な動き、戦いといった主題に見合う地図・図版・資料が取り入れられている。注も一層充実させている。日本とのつながりも重視している。
発行者の略称	東書	
教科書名(シリーズ)	世界史探究	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	歴史総合	近現代の世界の歴史について、自国史と世界史を一体として理解することができるように工夫されている。たとえば、近現代までの諸地域の文明について、歴史の時代や、出来事を象徴する諸資料を提示し、その地域についての解説を付している。この解説は、世界史を学ぶ初学者である生徒にとって必要な近代に至る世界の大まかな動きを理解する上で役立つように構成されている。近代からのページでは、資料の読み解きを基点に見開きを構成し、資料と文章を往還して学習を進める上で適当である。
発行者の略称	帝国	
教科書名(シリーズ)	明解 歴史総合	
教科名	地理総合	豊富な写真や図表と因果関係がわかる本文を通して、地理的な見方・考え方を働かせた学習を可能としている。また地図やGISの利用といった基礎的・基本的な地理的技能を習得できる内容となっている。最新の具体事例を扱うことで興味関心を高めたり、生徒自ら発見した疑問や課題を多面的・多角的に考察したりする工夫がなされている。世界各地の生活文化の特色や現代世界が抱える諸課題を学ぶことで異文化理解につなげることができる。
発行者の略称	帝国	
教科書名(シリーズ)	高等学校 新地理総合	
教科名	地理探究	図表を多く用いており、「読み解き」の問いかけと合わせることで、生徒が地理的技能を育成することができる内容となっている。また、図表と文字情報と合わせることで、事象の深まりと位置の概念を結びつけて理解する地理の見方・考え方の育成に有効な構成となっている。さらに、最新の情報をコラムで取り上げることにより、既存の知識や考え方にとらわれない生きた学びが可能になる工夫がなされており、主体的な学びへのきっかけ作りの題材が多く配置されている。
発行者の略称	帝国	
教科書名(シリーズ)	新詳地理探究	
教科名	地図	横幅が広く、広い範囲が同一ページに収まり、地域の理解が容易である。一般図では、地形の段彩が明確で、地形の特徴を捉えやすく、また、歴史事項も記載されているため歴史的背景を考える材料ともなる。主題図では、自然・産業・生活文化など、幅広いテーマの主題図が掲載され、多面的な地域理解に役立つ。また、主題図に「考察」コーナーが設けられており、地図をもとにした地理の見方・考え方の育成をはかるよう工夫されている。
発行者の略称	帝国	
教科書名(シリーズ)	新詳高等地図	
教科名	公共	記述内容が詳細かつ具体的で凡例も多く掲載され、現代の諸課題について考察する際に必要な情報が充実しているので、生徒が主体的に学習に取り組むのに活用しやすいものとなっている。各章の冒頭にはイントロダクションが設けられ、これから学習する内容の具体的な事例が紹介されており、また単元ごとに考える視点が示されていることも生徒の関心を高めて主体的な学習を促すために有効であると考えられる。
発行者の略称	実教	
教科書名(シリーズ)	詳述公共	
教科名	倫理	全体を通して、先哲の思想と現代とのつながりを強く意識した構成になっている。これは、現代の様々な倫理課題を自分自身の問題として考えることにつながり、倫理を学ぶ最も重要な目的の一つを果たすことになる。また、各章のはじめに全体を貫く問いがあり、それを考えるために必要な要素、すなわち内容解説と原典資料が過不足無く記載されている。
発行者の略称	第一	
教科書名(シリーズ)	高等学校 倫理	
教科名	政治経済	各単元はテーマごとに体系的に整理されており、記述内容・記述量ともに、政治・経済に対して関心の高い本校の生徒に適していると考えられる。また「諸問題の探究」に関する単元においては、論争となる問題を対立する二つの視点から考えさせるという構成をとっており、さらにそれぞれの「考え方の根拠と事例」を豊富な資料とともに掲載するなど、課題を探究する学習のための工夫が見られる。
発行者の略称	第一	
教科書名(シリーズ)	高等学校 政治・経済	
教科名	日本史探究	各時代のはじめに、時代を概観する方法と取り扱う資料の特性が述べられており、これに従えば章立て通りに自学の進化をはかることができるよう工夫されている。歴史総合に続く各科目の学習をすすめるにあたり、諸学説の取り扱いも合理的かつ公平であり、歴史を広い視野に立って科学的に学習できる。
発行者の略称	山川	
教科書名(シリーズ)	詳説 日本史	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C	必要な内容が精選され、授業の中で生徒が数学的な見方や考え方を働かせることができるように展開されており、思考力・判断力・表現力が身につくように工夫されている。視点を変えた多様な考え方を学び、様々な視点から問題を解決する方法を学ぶことができるように構成されており、応用的・発展的な内容について効果的に学習ができ、自ら学びをひろげていけるように考えられている。知識の定着と応用力をつけるための例題も積極的に取り上げられ、例題によっては解の指針や考え方がわかるような工夫もなされ、基本的な内容の理解と定着をはかり総合的な応用力を養えるように問題の配列も工夫してある。既習事項との関連性もわかりやすく表現されている。以上の事柄から、総合的に活用しやすく、本校生徒及び授業の実態に即した教材であると考え。
発行者の略称	啓林館	
教科書名(シリーズ)	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C	
教科名	物理基礎	本書は、データやグラフなどが多く盛り込まれ、また、図やモデルなどによる考察過程の補助的資料も多く、観察・実験を中心にして、生徒の体験を重視した展開を図っている。扱われている観察・実験も、当校の器具で無理なく実施可能な内容である。生徒が「見いだして」学ぶ部分も適切で、探究に必要な資質・能力の育成ができる展開となっている。また、本書に掲載されている発展の内容も、基礎の内容を補完するもので、当校の教育課程に照らし合わせて合致したものになっている。
発行者の略称	啓林館	
教科書名(シリーズ)	高等学校 物理基礎	
教科名	物理	本書は、実際の物理現象や実験の様子を、図や写真を用いて視覚的に捉えやすい構成になっており、1つ1つの現象を想起しやすく、分かりやすい内容になっている。特に、法則を導出する過程では、事象を示した図と数式を関連させやすい列びになっている。また、自学する際にも適切な題材が選定されており、生徒達が読みながら理解できる展開になっている。観察・実験も含めて扱われている教材は、当校の実験設備で無理なく実施可能な内容であることから、本書を選定した。
発行者の略称	啓林館	
教科書名(シリーズ)	高等学校 物理	
教科名	化学基礎	本書は、身の回りの物質について、成分元素とその性質、原子の構造と元素の周期表との相互関係に着目するとともに、イオン結合や共有結合、金属結合や分子間に働く力などの化学結合について、図やグラフなどを豊富に用いて理解を深めるように工夫されている。また、生徒が理解しにくい分野である、物質質量・モルの考え方や概念について、適切な説明とわかりやすい図や適切な問い・練習問題などを配置しているので、容易に理解することができる。さらに、発展的な内容や課題なども適宜取り入れられており、化学の学習を進めていくために必要な内容が十分に盛り込まれている。
発行者の略称	第一	
教科書名(シリーズ)	高等学校 化学基礎	
教科名	化学	本書はまず、各分野において多くの適切な実験が配列されており、当校の実験中心の授業において活用しやすいものである。また、各分野の構成についても、生徒がスムーズに身につくように工夫しており、特に新課程で扱いが大きく変わった熱化学分野については物理で熱化学を学習しない生徒にもわかりやすく、丁寧にまとめられている。また、無機化学分野では、単純な暗記でなく、系統的に学べるよう構成しており、生徒がしっかりと考えながら進めることができるよう配慮なされている。また、図や写真などを適切に用い、生徒の興味・関心を高めることができるようになっている。さらに、発展的な内容も必要に応じて配列されており、生徒の興味・関心を高める一助となっている。
発行者の略称	第一	
教科書名(シリーズ)	高等学校 化学	
教科名	生物基礎	本書は多くの実験・観察が扱われており、当校の授業において活用しやすいものであり、その手順と配置も適当である。また、学習内容に準ずる話題や発展的な内容が適切に配置され、その内容と頻度も適当である。科学的な知識に関しても、多様な事物・現象が扱われており、用語の英語表記やモデルの系統的な配列など、生徒の実情に合わせた当校の学習指導の方針に適したものとなっている。
発行者の略称	実教	
教科書名(シリーズ)	生物基礎	
教科名	生物	本書は、生命現象と生物の存在様式を簡潔に扱い、その内容を適切に整理して容易に理解できるよう配慮されている。進化の学習について、予備知識が少なくても学びやすいように工夫がされている。また、参考・コラムの配置頻度が適当であり、その適時性もある。観察・実験、探究活動を通じて問題解決に向かう構成は、当校の授業において活用しやすいものであり、その手順と配置も適当である。以上の特性は生徒の実情に合わせた当校の学習指導の方針に合致したものである。
発行者の略称	数研	
教科書名(シリーズ)	生物	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	地学基礎	本書は、学習内容が系統的に配列されているとともに、地球(身近な視点)から宇宙(全体的・俯瞰的な視点)へと移り変わっていく構成ともなっており、生徒が主体的かつ計画的に学習が進められるよう工夫されている。また、当出版社は、基礎を付していない「地学」教科書を発行しているただ1つの会社であり、継続して利用することを意識した編集となっている。内容的にも充実した、発展的な事物・現象を取り扱ったものとなっており、当校の教育課程や学習指導に照らして適したものとなっている。
発行者の略称	啓林館	
教科書名(シリーズ)	高等学校 地学基礎	
教科名	地学	本書は、学習内容が系統的に配列されているとともに、地球(身近な視点)から宇宙(全体的・俯瞰的な視点)へと移り変わっていく構成ともなっており、生徒が主体的かつ計画的に学習が進められるよう工夫されている。基礎を付していない「地学」教科書は、発行者が1社のみであり、内容的にも発展的な事物・現象を取り扱ったものとなっており、当校の教育課程や学習指導に照らして適したものとなっている。
発行者の略称	啓林館	
教科書名(シリーズ)	高等学校 地学	
教科名	保健体育	内容の構成・配列が適切で理解しやすい。資料が豊富で扱いやすい。「考えてみよう」やコラムが用意されており、生徒の興味・関心を高めることができる。章のまとめやADVANCEの項目は自発的学習を促すものとして役に立つ。以上の内容から、生徒の主体的な学びを最優先として考え採択とした。
発行者の略称	大修館	
教科書名(シリーズ)	新高等保健体育	
教科名	音楽Ⅰ	小中学校での共通教材が「心の歌」として取り上げられており、日本で昔から歌い継がれている曲を再評価できるようになっている。オペラやミュージカルだけでなく、わが国の伝統音楽の舞台芸術についても比較しながら理解できるよう、工夫がなされている。また、創作の段階を踏んだ鑑賞と表現との一体化が図られており、使いやすい教科書となっている。
発行者の略称	教芸	
教科書名(シリーズ)	MOUSA1	
教科名	音楽Ⅱ	音楽Ⅰとの継続性が図られており、特に器楽では音楽Ⅰで培ったギターの基礎的な奏法の上に立って、ギター弾き語りなどの発展的な内容ができるようになっている。歌唱では最新のポップスや合唱、ボイスアンサンブルなどが取り入れられている。創作でも、生徒が自分たちで考えながら曲作りをして行けるような構成となっている。
発行者の略称	教芸	
教科書名(シリーズ)	MOUSA2	
教科名	音楽Ⅲ	生徒にとってなじみ深いクラシックとポップスの教材がバランスよく配列されている。器楽の内容も含まれている。鑑賞の説明が適切で時代に沿って専門的な内容も含まれ楽典も分かり易い構成となっている。歌唱や合唱の教材の配列やその難易度が当校の生徒の実情に合っているなどの理由から教科書を採用することとした。
発行者の略称	教芸	
教科書名(シリーズ)	Joy of Music	
教科名	美術Ⅰ	生徒の主体的な学びに問いかけるような工夫により、アクティブラーニングに対応させ、生徒自身が答えを導き出す力を育むことができる。SDGsの観点を取り入れ、アートの力で世界を変えるという国際的な視点で考える力を養うことができる。このようなことから、生徒の美術への興味関心を持たせるとともに、創造力を育むことができる教科書であると考えられる。
発行者の略称	116 日文	
教科書名(シリーズ)	高校美術	
教科名	美術Ⅱ	美術Ⅰとの連続性を意識しており、より深く学びたい生徒にとって、考えて創造する力を身につけるための構成になっている。表紙では美術館で鑑賞する人々も含めた写真作品であったり、作品が飛び出して見えるトリックアートが体験できたり、これまでの教科書にない試みがなされている。また、屏風作品は紙を折り曲げて立てて鑑賞できるようになっており、紙の教科書ならではの鑑賞の工夫がなされている。
発行者の略称	116 日文	
教科書名(シリーズ)	高校生の美術2	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	美術Ⅲ	日本や西洋の美術だけにとどまらず、幅広い地域や時代の作品が取り上げられている。また現代社会やオリンピックをテーマとした題材を設け、社会や文化への視野を広げることができるよう工夫されている。これまでの学習内容を基礎にして、より表現や鑑賞の能力を深められるよう学習内容の段階化が図られている。
発行者の略称	38 光村	
教科書名(シリーズ)	美術3	
教科名	書道Ⅰ	それぞれの時代において、生活の中で「書」がどのような位置づけにあったのかという視点で、「書」を身近に感じながらそこに入っていけるように考えられている。北魏の書も折り込みで大きく扱うなど、幅広く古典を感じることができる。「書」がどのような歴史背景から生み出されたのか、芸術としての傑作が生まれる必然をきちんとわかりやすく説明している。書道史年表にも、図版を多く取り入れて視覚的に概観できるものとなっている。全体を通じて生徒が主体的に学ぶことができる工夫が随所に施されている。
発行者の略称	教図	
教科書名(シリーズ)	書Ⅰ	
教科名	書道Ⅱ	Ⅰと同じく、篆書・隸書・草書で、時代の流れや変遷が俯瞰的にわかるような並べ方を、それぞれの最初に持ってくるという編集が施されている。そのあとに代表的な古典が書き方も含めてわかりやすく載せられている。行書・楷書では、いわゆる発展的な作品が数多く取り上げられており、いろいろな書体に関して生徒にイメージを膨らませる授業展開が可能となるつくりになっている。古典・古筆にもとづいた漢字仮名交じりの書への展開もよく工夫されている点である。
発行者の略称	教図	
教科書名(シリーズ)	書Ⅱ	
教科名	書道Ⅲ	更に発展的な古典・古筆が適切に載せられているのと、そこから発想したと思われる現代の作品を並べる工夫がなされている。それによってその古典・古筆がどう扱われてきたのかということと、そこからどのように作品に展開されているかがわかる。また、元明清や江戸時代の作品などもとりあげられているので、様々な書風の理解と同時に、創作への手がかりにもなる内容となっている。
発行者の略称	教図	
教科書名(シリーズ)	書Ⅲ	
教科名	英語コミュニケーションⅡ	各課を通じて4技能5領域の活動がバランスよく構成されている。本文は見開きで収録されており、英文全体を俯瞰して概要把握する力を育てることができる。生徒の知的好奇心を満たすような幅広い題材を扱っている。SceneごとにRetelling活動が設けられており、生徒の表現力を高めることができる。サブノートなどの補助教材もマッピングなど問題の種類が多く、内容が充実している。
発行者の略称	大修館	
教科書名(シリーズ)	Element English Communication I	
教科名	英語コミュニケーションⅡ	各課を通じて4技能5領域の活動がバランスよく構成されている。本文は見開きで収録されており、英文全体を俯瞰して概要把握する力を育てることができる。生徒の知的好奇心を満たすような幅広い題材を扱っており、各課に思考力・判断力を高めることにつながる内容理解問題が設けられている。SceneごとにRetelling活動が設けられており、生徒の表現力を高めることができる。サブノートなどの補助教材もマッピングなど問題の種類が多く、内容が充実している。
発行者の略称	大修館	
教科書名(シリーズ)	Element English Communication II	
教科名	英語コミュニケーションⅡ	各課を通じて4技能5領域の活動がバランスよく構成されている。本文は見開きで収録されており、英文全体を俯瞰して概要把握する力を育てることができる。生徒の知的好奇心を満たすような幅広い題材を扱っており、各課に思考力・判断力を高めることにつながる内容理解問題が設けられている。さらにFurther Readingでは専門的な内容を英語で学ぶ機会も保証できる。SceneごとにRetelling活動が設けられており、生徒の表現力を高めることができる。サブノートなどの補助教材もマッピングなど問題の種類が多く、内容が充実している。
発行者の略称	大修館	
教科書名(シリーズ)	Element English Communication III	
教科名	論理・表現Ⅰ	「やりとり」「発表」「書く」という表現活動がバランス良く配置されており、学習した言語材料を「目的・場面・状況」に応じて適切に活用できるよう構成されている。また、Unit Goalsには、活動に対する自己評価を記入するCan-doリストがあり、生徒は自身の到達度を確認しながら主体的に学びを進めることができる。文法事項についてはそれのみで独立しておらず、コミュニケーション活動につながる語彙や表現が用いられており、年間を通じて確かな文法知識と豊かな表現能力を育成するのに適している。
発行者の略称	大修館	
教科書名(シリーズ)	Genius English Logic and Expression I	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	論理・表現Ⅱ	「やりとり」「発表」「書く」という表現活動がPartごとに分かれて体系的にバランス良く配置されており、学習した言語材料を「目的・場面・状況」に応じて適切に活用できるよう構成されている。各Partでは、トピックが生徒にとって身近なものから社会の問題へと徐々に視野を広げていく配列になっている。導入で用いるモデルの英文の内容理解や論理構成を、言語活動を通してアウトプットにつなげる流れとなっており、年間を通じて論理的な表現能力を育成するのに適している。
発行者の略称	大修館	
教科書名(シリーズ)	Genius English Logic and Expression II	
教科名	論理・表現Ⅲ	「やりとり」「発表」「書く」という表現活動がバランス良く配置されており、学習した言語材料を「目的・場面・状況」に応じて適切に活用できるよう構成されている。各Unitでは、様々な社会的な問題に関して、他者と考えを伝え合ったり、物事の見方・考え方を学んだりしながらアウトプットにつなげる言語活動が用意されている。論理・表現Ⅰ、Ⅱで身につけた語彙や文法知識、論理の構成や展開の仕方を活用して、年間を通じて論理的かつ豊かな表現を用いた発信能力を育成するのに適している。
発行者の略称	大修館	
教科書名(シリーズ)	Genius English Logic and Expression III	
教科名	家庭基礎	各出版社から出版されている教科書を比較した結果、全体を通して、「持続可能な未来をつくる」ために生活の中から課題を見つけその解決を図るという視点が盛り込まれており、これは当校の教育課程に照らし合わせて合致したものになっている。生徒の興味関心を惹く内容のコラムが多く掲載されており、思考を促す材料となったり、多角的な見方・考え方を身に付けたりできる。実物の写真や動画などデジタルコンテンツが豊富であるため、イメージをつかませ易く、学習を補助する資料としても活用できる。これまでの日本社会や他国の現状を表した統計資料が多く掲載されているので、それらを比較・分析することによって、これからの生活のあり方や社会とのかかわり方について、考察を促すことができる。以上の事柄から、本書が本校生徒及び授業の実態に最も即した教材であると考え採用することとした。
発行者の略称	第一	
教科書名(シリーズ)	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる	
教科名	情報Ⅰ	情報科学研究入門の学習内容に沿っており、学習者の学びを深めることができる。また専門用語の解説が充実しており、自学自習の教材としても活用できると思われる。さらにイラストによる解説も豊富で、視覚的な理解を促すことができると考えたため、本教科書を採択する。
発行者の略称	東書	
教科書名(シリーズ)	情報Ⅰ Step Forward!	